

<<Dektak-XT の遠隔操作について>>

Dektak-XT（東8号館408号室）は令和3年6月から遠隔操作ができるようになりました。

遠隔操作には『team viewer』というソフトウェアを使用します。

<https://www.teamviewer.com/ja/>

team viewer を使用するには、上記 URL から無料ダウンロードでソフトウェアを取得し、パソコンにインストールしてください。

※team viewer を使用すると、Dektak-XT の制御パソコンのデスクトップが、自分のパソコン上に現れますので、離れた場所（自分の研究室や自宅等）で

- ・ Dektak-XT の測定
 - ・ Dektak-XT の解析ソフトを使用
- をすることができます。

※Dektak-XT 制御パソコンには、**本学の team viewer 商用ライセンスに紐づいたアカウント以外からはアクセスできませんので、まずセンター小林さん kobayashi@cia.uec.ac.jp に連絡して「本学の team viewer 商用ライセンスに紐づいたアカウント」**を取得してください。

※上記アカウントを取得後、設備管理者が遠隔操作に必要な**パートナーID、パスワード**を教えます。

<<遠隔操作のルールについて>>

(1) **遠隔操作をする時間帯は必ず設備予約システムで設備予約をしてください。**

(2) 遠隔操作でサンプル測定を行う場合、ユーザ自身、自分の研究室のメンバーあるいは他研究室の院生・学生に、パソコンの電源 ON、使用後のパソコンの電源 OFF、後片付け等を行ってもらうようにしてください（上記下線のサポートを行う人を、以下 Dektak-XT スーパーユーザと称します）。Dektak-XT 自体が動く状態でないと遠隔操作はできません。

※他研究室のユーザのために Dektak-XT スーパーユーザの仕事をしてくれた人には、研究設備センターから時間単位で謝金をお支払いします。

※自分の研究室あるいは他研究室の院生・学生に Dektak-XT スーパーユーザの仕事に依頼するのは、遠隔操作を行うユーザ自信が行ってください。

※Dektak-XT スーパーユーザの仕事に依頼した場合は kuwahara@uec.ac.jp まで連絡をお願いします。

(3) 遠隔操作でスペクトル解析ソフトを使用してデータ解析のみを行う（測定は行わない）場合も、**必ず設備予約システムで設備予約**をしてください。

（この場合、Dektak-XT 制御パソコンの電源 ON、最後に電源 OFFを誰が行うかについては、誰かに依頼する、ユーザ自信が行う等考えられますが、遠隔操作でデータ解析のみを行う（測定は行わない）場合、サポートしてくれた人に謝金は出ませんのでご注意ください。）